

2010年度第3回水工学委員会幹事会 議事録

日時： 2010年11月5日(金) 13:00-14:00

場所： 土木学会講堂

出席者： 中川 一(委員長), 寶 馨(副委員長), 関根正人(幹事長), 田中昌宏(編集幹事長), 泉 典洋, 井芹 寧, 江種伸之, 大串浩一郎, 大槻英樹, 岡田将治, 門田章宏, 川池 健司, 河原能久, 木内 豪, 里深好文, 高木茂知, 竹原幸生, 多田彰秀, 田中規夫, 藤堂正樹, 戸田祐嗣, 西村達也, 原田守博, 檜谷 治, 藤田正治, 藤田裕一郎, 森脇 亮, 矢島 啓, 矢野真一郎, 横山勝英, 渡邊康玄, 大石 哲, 大久保賢治, 坂井伸一, 坂本 康, 清水義彦, 玉井昌宏, 富永晃宏, 西田修三, 二瓶泰雄, 藤田一郎, 山坂昌 成, 陸 旻皎 [以上, 水工学論文集編集小委員会出席者; 敬称略]

議題：

≪報告事項≫

1. 各部会・小委員会の活動報告および活動計画 (主なもののみ記載)

○基礎水理部会：

黒部川見学会を10/20-21に実施した。第4回基礎水理シンポジウムを本年12/6に土木学会講堂にて開催の予定。テーマは「河床形態」「流れの計測」。

○環境水理部会：

「流域圏の物質輸送に関する実態評価の現状と課題」と題したミニシンポジウムを12/15に開催する。

2. 土木学会英文論文集について

土木学会英文論文集 JSCCE Journal of Hydraulic, Coastal and Environmental Eng. の発行時期を当初の案より1年遅らせて、2013年1月からとすることが報告された。これにより2012年度までは従来通りに JHHE 論文集を発行することになる。英文論文集は J-Stage 上に発刊され、実質的には毎月掲載されることになるため、JHHE が5月と11月の二回に分けて発刊されていたように Volume を Vol.1 と Vol.2 のようにまとめることも可能。

電子投稿・査読システムが用意される。English Proof Reading は海外に外注する。掲載料は無料の予定。

3. 土木学会論文集特集号について

特集号の J-Stage 上への掲載は2011年からであるが、準備のできた委員会から始めていくことが報告された。当委員会が発行する水工学論文集は2011年2月に発行のものから掲載する予定である。

J-Stage 上に掲載される特集号の名称は、「土木学会論文集 B1(水工学), Vol.67, No.4, 2011」のような表記となる。これとは別に CD 版の論文集が発行されるが、これには「土木学会論文集 B1(水工学), Vol.67」と「水工学論文集第55巻」とを併記するか、後者だけでもよい。CD 版論文集は、J-Stage 上の正式版と内容は同じでなければならないが、表紙などの体裁は講演会用のものとして水工学委員会に任されている。ただし、論文につけられるヘッダ

一に関しては、正式版にあわせて「土木学会論文集 B1(水工学), Vol.67」としておくと、あとから付け替える必要がないのでよい。ページ番号については「S_1～S_6」のようにする。

[追記] 特集号のページ番号を上記の通りとすることが決定され、これが各委員会の発行する特集号共通の表記法となる見込みである。これは JST の規定によるものとされ、特集号のページ番号と CD 版のものとは同一のものとする。一方、通常号と特集号のページ番号が連続することはない。上記の点も含めて、詳細については土木学会論文集再編委員会ならびに編集調整会議において現在検討中である。そのため、今年度に関しては可能な限り最終形に近づける必要があるものの、細部に関しては今年度限りの特例が認められるとのことである。(関根, 2011/01/31)]

以上